

加藤弘之日記——明治十一年一月—明治十三年——

凡例

- 一 翻刻に当たっては、原文通りを原則とし、漢字は常用漢字があるものはそれを用いそのほかは正字を用いた。
- 二 本文中判読不能、欠けている箇所は□又は「」で示し、虫喰の場合は(虫喰)と注記した。
- 三 合字はひらき、変体仮名は平仮名にした。
- 四 朱書、抹消、加筆などは当該箇所を()で括り、行間にその旨を示した。
- 五 欄外にある記号(○あるいは△など)はゴジックとした。

明治十一年

○一月

一日 雨

在宅フルベッキ氏其外年始ニ来ル午後正矩モ参ル中間江屠蘇料一朱ツ、

二日 雨曇

在宅少々風邪之心持学校教師其外来ル。朝吉原火事

三日 雨

在宅、小嶋忠廉其外諸人来ル風邪ノ心持。高翁来ル

四日 雨

諸人来ル午後三時ヨリフルヘキ方ヘ年礼ニ参リ夫レより上野精養軒ニ而浜尾服部兩人ヲ招待シ夜八時前帰宅

五日 小晴

諸人来。午後十時頃市谷左門坂火事

六日 小晴 日曜

諸人来。午後四谷ヘ年始ニ参ル。市川家内等来ル

七日 雨 午後曇

今日大学ニ出ツ夫レより西久保へ年始参り帰り竹内へも参ル。今夕明六社発会ナレトモ右年始ニ付断ル

八日 一寸雪直ニ止ム曇

出校帰り近辺年始ニ参ル

九日 大晴 寒

在宅

十日 大晴 寒

出校

十一日 大晴

出校。帰り麻布麻見へ参り、近日西久保君家一同招待之義ヲ托シ置ク

十二日 大晴

在宅

十三日 日曜 晴

午後浅草猿屋町浅利へ参り此処ニテ車坂所有地即六番地ノ新差配人へ談合其後散步五時過帰宅

十四日 大晴

出校一寸文部省へ参ル

十五日 晴

在宅

十六日 雪少々

出校

十七日 晴

今朝西久保へ参り御招待之事ヲ申上ル即廿日ナリ

十八日 小晴

出校。今日より政治論講義始メ

十九日 小晴 風

午後下町買物

廿日 大晴 無風 日曜

今日午頃十一時より西久保両御夫婦御招待麻見取持正矩方一同其外仙石久洋爪田酒匂等北町其外来ル

并ニ祠堂祭

廿一日 晴

出校帰り文部省ノ第三月曜会ナリ

廿二日 晴

在宅

廿三日 晴

出校。夕方小地震

廿四日 大晴

午前七時過地震

在宅

廿五日 小晴

出校夕方講義

廿六日 大晴

在宅

廿七日 雨 日曜

在宅

廿八日 晴

出校。今朝高輪ニ而安産ノヨシ祖母君被参

廿九日 晴

出校

三十日 雪 孝明天皇祭

在宅

三十一日

今日九鬼より昌平館被招同人仏国ニ出立の故ナリ

○二月

一日 晴

今日明六社ニ而九鬼送別ス

二日

出校

三日 雨 日曜

今日温知会発起相談ニ而学校ヲ拝借集会ス以来毎月第一ノ日曜日
会日卜定ム

四日 曇

学校ニ出ツ

五日 晴曇

学校

六日 大晴

在宅

七日 晴

出校

八日 晴

在宅。講義

九日 晴

出校

十日 曇雪 日曜

午後二時過より正矩方春祭被招一同參ル

十一日 雪大凡八寸計

紀元節ナリ

十二日 曇小晴

出校帰り浅利へ參ル采女町地所ノ一件

十三日 晴

在宅。今日采女町七番地買求八百円上り八分之管河合反輪是非但後々穿鑿スレハ随分高シ

十四日

出校。(採情) 講義

十五日

在宅。講義

十六日

在宅

十七日 晴 日曜

午前采女町差配人木挽町十四番地柴田小左衛門方へ參ル其後散步

十八日 曇

出校。夕方文部省会

十九日 晴曇

今日河合ヲ頼小舟町安田善次郎方ニ而七百円丈秩禄公債ヲ買フ但
金貨ヲ紙幣ニ直シテ買フナリ金貨直段ハ紙幣百円ニ付百拾円七十
錢之割ナリ

但公債八百円ニ付九十九錢四十錢ナリ

廿日

出校

廿一日

在宅

廿二日

出校。講義

廿三日

今晚六時地震甚タシ其後二三度アリ。夜大学演説ニ付出ル

廿四日 雨 日曜

在宅。朝講義

廿五日 雪雨

出校

廿六日 晴

フルヘキ方へ参ル

廿七日

出校

廿八日 雨

○三月

一日 晴

出校。明六社会三河屋へ参ル

二日

出校。両三日前より妻子供不快。十吉暇ヲ取り下ル

三日 晴 日曜

温知会集会日ニ而学校へ参ル横山演説

四日

学校

五日

在宅

六日 雨 曇

出校

出校。新二石町大野屋慎三郎より金片側時計ヲ求ム価八十三円番
号は68331なり

七日

在宅。フロウフロウ猶不快

十四日

十五日

出校。講義

八日

出校

十六日

牧野独乙義塾へ被頼演説參ル。午後砲兵本廠火事

九日〔在探地〕

在宅

十七日 日曜

在宅。高母照齋新富町芝居へ參ル。夜九時神田大火

十日 晴 風 日曜

午後子供等召連銀座辺へ參ル片側金時計ヲ被盜番号二万八千六百
四十三ナリ即明治七年七月二大野屋より求メタル分

十八日

出校

十一日 晴

出校

十九日

在宅。午後フルフルへキ方へ參ル

十二日 晴 風

蒲田へ參り其地散歩

二十日 晴 風

出校

十三日 晴

廿一日

廿九日 小雨
出校

廿二日 晴

出校帰り外へ回ル

三十日 雨

文部省会議

廿三日 晴

学校演説会夕方出ル

三十一日 日曜
朝講義

廿四日 快晴 日曜

家族一同四谷妻河合一同植物園へ参ル

○此後四五ノ両月繁多ニシテ日記ヲ怠リタリ但此両月中異常ノ事件
ハ

廿五日

出校

○五月六日(加老)十一時頃女子出産徳子ト命ス
○同十四日午前八時過参議大久保利通参朝カケ紀尾伊町ニテ暴人ノ
為メニ殺害セラル翌日左ノ如シ

廿六日

在宅

参議兼内務卿正三位勲一等大久保利通
贈正二位右大臣
右十七日神葬アリ

廿七日

出校夕方講義

暴徒ハ石川県士五人島根県士一人ナリ
大久保子息利和并木戸孝允子息正二郎華族ニ列セラル大久保へハ
三万円ヲ賜フ

廿八日

午後浅草下谷辺

○六月
一日 終日雨

三四日前ヨリ風邪熱強ク引込居今日頃ヨリ大ニ快方ナリ

二日 日曜 曇

快方

三日

四日 晴

今日ヨリ学校出勤

五日

学校出勤

六日 晴

学校出勤。兩三日前高輪翁怪我致候ニ而見舞ニ参ル少々よろしき

方ナリ

七日

□□ 余二一ツ

九月廿四 廿五日 廿六日 廿八日 同日

一日 (四日) (三日) 五日 六日 七日 九日 十一日 十四 十

四 十五 十六 十七 十九 廿 廿一 廿三

此三十日間廿二度

此外一クバリノ布如何

廿五日 廿七日 廿八日 卅日 一日 二日 四日 六日 (十一日)

十二日) 八日 十日 十一日 十二日此外二度

此三十日間十四度

十一月

入之部

○二百五十円 一月報酬金

一円 大村一月家賃

五十銭 同

三円 赤坂地面 去年ノ残

九円〇三銭 田町十二月地代家賃

四円廿四銭七リン 高輪小地所家賃

七円三十銭 三田家作十一月十二月分

七円四十六銭五リン五 高輪一月分

五円五十五銭 麴町二月分

三円五毛 車坂一月分

三円五十三銭二リン 長者町

(入)二百五十円 二月給金

三円五十三銭六リン 坂町

二百五十拾円 三月分俸金

九円三十八銭六リン五 高輪大地二月分

一円五十銭 大村二月分
 拾五円七十銭 河合二月分
 三円九十八銭四リン 田町并
 三円九十八銭四リン 高輪小地 地代
 三円二十二銭三リン五毛 長者町地代
 三円二十二銭三リン五毛 車坂二月分
 二円三十一銭二リン五毛 二月分
 三円二十二銭六リ五 三田家賃
 拾四円七十銭 四谷二月分
 二月份田町
 五円六十一銭一リン 二月份采女町
 三円十一銭五リン 三月長者町
 三円十九銭七リン五 三月分車坂
 三円〇〇五リン五 三月分坂町
 七円廿九銭二リン五 三月北町
 四円五十三銭〇五毛 三月高輪小地
 一円三十二銭 四月麴町
 一円五十銭 三月河合大村
 二百五十円 四月報金
 八円八十八銭 四月北町
 五円廿三銭 四月横丁
 十八銭七リン五毛 利息
 三円〇一銭二リ五 四月坂町
 三円八十三銭 五月麴町
 拾一円三十六銭四リ五 田町三月分
 二円六十八銭七リ五 三田二月分

一円五十六銭二リ五 三田三月分
 一円 三田ノ内金
 五円五十五銭ハ 大村四月分
 三円三十六銭五 采女町三月分
 三円廿三銭二リ五 長者町四月分
 二十五円二十銭 車坂四月分
 二百五十円 金公債半金
 四百二十一円八十七銭五リン 五月々給
 三円九十八銭四リン 国法汎論第九冊
 三円廿二銭五リン 千五百部文部買
 十一円 上ヶ代
 四円八十二銭五リン 五月長者町
 五円十六銭三リン五 本売代
 九円八十六銭二リン 山城屋書祝
 五円五十二銭 四月田町
 三円五十銭 四月采女町
 十八銭七リ五 三四内金三田
 二円九十七銭 〔五月〕坂町利息
 四円十四銭 五月坂町
 五十銭 六月麴町
 一円 五月河合
 五月大村

五十銭 六月河合
 二百五十円 六月俸金
 五四五十三銭六リン 五月采女町
 三四十九銭〇五毛 六月車坂
 三四十一銭六リン 同 長者町
 八円五十五銭 高輪
 九円七十五銭 田町
 一円 大村
 一円五十銭 河合ヘタ、ミ売
 二円(床地) (加差) 十銭 木村加藤謝銭
 十円 赤坂一月ヨリ六月迄
 二百五十円 七月俸金
 五四三十(床地) 三銭三リン 横丁
 八円八十一銭四リン五 北町
 二円六十銭 六月坂町
 二十銭 平川利
 四円十四銭 七月麴町
 二百五十円 八月俸金
 十円十銭三リン九毛 田町
 四円七十五銭ハリン 采女町
 三四四十九銭四リン 長者町
 五四五十六銭二リン 三田
 三円廿銭二リン五 車坂

五円 高輪小地所
 十八銭七リン五 平川利息
 一円七十四銭 (金禄公債証書)
 三円 (ノ端金)
 二円二十八銭一リン 高輪大地所
 四円(床地) (加差) (マ) 四銭 麴町
 七十一銭二リン五 山城屋書物代
 二百五十円 九月俸金
 三四六十五銭五リン五 (マ) 坂町八月分
 一円五十銭 葬式見舞クレタル金
 五円九十六銭八リン 采女町
 七円〇七銭六リン五 長者町
 三円五十六銭二リン五 車坂町
 三田六月分
 二円 同 七月内金
 四円三十九銭二リン五 (マ) 高輪小地所
 五円六十一銭 田町
 四円十四銭 麴町 (床地) (高輪大地)
 拾円十七銭 北町
 四円七十七銭六リン 横丁
 二円七十八銭九リン 赤坂
 六円〇六銭六リン 田町
 三円〇三銭七リン二毛 (マ) 長者町
 三円七十二銭四リン 采女町

二四六十八錢七リン内金	四谷坂町	四四十四錢	麴町
二百五十円	十月月俸	一円	大村
二百六十六円	公証書利	十八錢七リン <small>(マ)</small>	平川
二百五十円	十一月月給	三四九十四錢七五	四谷
二十五円二十錢	金証書利	四四六十一錢一但一円遣	長者町
四四十四錢	麴町	拾一円八十錢	高輪小地所
一円	大村	三四五十一錢五五	車坂町
十八錢七リン <small>(マ)</small>	平川利	拾四九十五錢	高輪大地
九四廿七錢六	高輪	六四七十二錢二リン五 <small>(マ)</small>	山城屋書物入金
拾一円十二錢四	田町	二百五十円	一月々給
三円八十一錢二	長者町	二十円	高輪より 祖母様死去ニ付 差越ス
二四九十五錢七五	車坂	四十六錢五リン	田町諸入用アリ残
七四十二錢五リン	三田	二四九十八錢四リン	長者町
三四五十一錢五	車坂	三四五十錢五五	車坂
五四十九錢	横丁	五四十八錢八リン	横丁
一四五十錢	采女町九月分内金	二四八十四錢九リン	赤坂
三四四十一錢五リン	坂町	二円	采女町内金
二百五十円	十二月分月給	五四二十二錢五リン	三田
百〇七円五〇錢	講義謝礼	拾四十三錢八リン	田町
四四三十錢四リン	采女町残金	四四六十四錢	高輪大
十一円九十七錢七リン五 <small>(マ)</small>	高輪大	三四七十七錢四	采女町残金
十円五十錢	田町	四四十四錢	麴町
五四十二錢二リン	赤坂		

七十一錢七リン 車坂
 九十九錢〇二毛 地租引キタル故
 一円 長者町
 三十七錢五(マ) 大村
 二百五十円 平川十二月一月分
 二月分月給
 五十八円五十錢 東京府講義
 車坂
 二円九十五錢七五 車坂
 三円九十八錢 車坂
 八円六十六錢 采女町
 四円三十二錢 高輪大
 三円 赤坂十二月内金
 四円十四錢 麴町
 九円廿七錢 田町
 四円五十一錢三 横丁
 二円五十二錢七五 四谷
 十八錢七五 平川
 十八錢七五 平川
 三円五十錢七五 四谷坂町
 十一円四十四錢五 高輪
 五円五十六錢二五 三田
 四円四十六錢三 采女町
 九円六十八錢六五 田町
 三円廿一錢八五 車坂

三円八十七錢一 長者町
 九拾八円五十錢 東京府講義謝礼
 二百五十円 月給(保) (加) 月分
 二百五十円 四月分
 二百五十円 五月分
 拾円三十五錢 高輪
 四円七十一錢三リン 采女町
 七十五錢 同所殘金
 五円 同所辻殘
 九円六十九錢五リン 田町
 三円〇八錢一リン 坂町
 二十五円二十錢 金債利息
 二百五十円 六月々給
 百五十円 学士院年金之内半金
(保) (保) (保)
(△) (四) (百) (譜)
 十三円 赤坂地面地代
 十一月廿二錢五リン 高輪北町
 五円九十二錢五リン 三田
 二円 四月分坂町
 九円三十二錢六リン 田町
 二円八十二錢六リン 采女町
 二百五十円 七月分月給

四円廿三銭 車坂ニヶ月分

二円七十七銭 長者町四五六七ノ四ヶ月

三円五十一銭五リン 麴町

拾一円九十七銭五リン 高輪

六円七十二銭三リン 田町

三円九十三銭一リン五 采女町

一円〇四銭九リン五毛 坂町

六拾九円 但地租ヲ引テ七月廿五日差越ス 東京府謝金

二百五十円 八月月給

二十五銭 本売代

四円八十銭 高輪

四円五十二銭五 麴町

三円十七銭九リン 田町

六円廿二銭五リン 三田

一円八十六銭六リン 采女町

三円六十三銭三五 坂町

拾一円六十銭五 書物売代

二円六十二銭 七月赤坂

九円 山城屋書物祝

三円七十三銭三リン 高輪地代

四円 三田

七円二十三銭四リン 田町

四円五十二銭 麴町

六円十一銭一リン 采女町

七円十五銭 車坂

六十一銭二リン 長者町

三円五十一銭五五 車坂

三円九十八銭四 長者町

四円七十一銭五 坂町

二円九十一銭二 赤坂

五円六十五銭三 采女

九円拾銭三五 田町

四円五十二銭 麴町

二百五十円 九月月給

二百五十円 十月同断

四円 坂町

二円九十一銭六五 赤坂

四円廿七銭 麴町

五円四十三銭七 三田

拾四三十一銭三リン 田町

八円六十五銭六 高輪

三円九十八銭四リン 長者町

三円五十一銭五五 車坂

五円八十六銭九 采女町

三十五円 東京府謝儀

(但十円□□ヘヤル)

二十五円 金禄公債利

二百五十円 十一月々給

二百五十円 十二月同

百五十円 学士院

三百五十四円六銭 版利入

五十円五十銭 東京府講義

二十五円 白井政夫返金

三円四十四銭七五 車坂

三円九十八銭四 長者町

拾円五十銭 ストープ売

七円十二銭五 三田

一円五十銭 喜助利

二円八十九銭二厘 赤坂

五円〇〇七銭四リン 坂町

二円三十六銭 赤坂

二円廿七銭 麴町

六円〇六銭一厘 采女町

十円〇〇三銭 高輪

十円〇五十七銭四 田町

出之部

○百十(加筆)円 一月分并二同月臨時共

○二十二円〇六銭五毛 本買代

右一月一日出シ

○百円 但中山十二円モ此内
本買五円廿五銭モ此内

右二月一日出シ

三月一日出ス

○百(採通)円 三十円 但伊セ金二十九円も
三月十三日 此内

八十三円 金時計

大野屋 6831

四月一日

(備外注記)
〔出〕百円出ス

同月 番町学校生徒贈物
并竹内礼等

四月廿六日 不足出来タル故ナリ

同日 盛衰記写本五拾冊分ノ前貸し
三十円 但過不及ハ写了ノ上積算之事

五月一日出ス

○百(採通)円 五月入用
〔九十八〕円

○三十(採通)円 伊勢金払之分
〔十七〕円

同十二日

○十四円 出産ニ付ヤリモノ

○九円 入用不足

六月一日出ス

○九十九円 六月常費

○百円 国法汎論第九冊出版入用

○五十(採通)円 五十銭 洋書買入代

- 五十円 山田前貸
- 七月一日 二十四円 先月ノ小使足シ念速寺江普請助金五円モ此内
- 七月一日 百円 常費
- 八十円 盆諸入用新代も此内伊セ金払モ此内
- 六十二円〇一銭六リ五(マ) 高輪長屋其外修覆代
- 七月廿六日より八月廿五日迄
- 百円 常費其外
- 二十円 フルヘキ饗応餞別
- (マ) 九十円(マ) 入湯持越
- 二十三円五十巻銭
- 是ハ八百二十五円分ノ公債証書ヲ買ヒタル節右百円ニ付百〇二
円八十五銭ナル故其余数ノ分ナリ
- 十円 小使不足
- (マ) 九十円(マ) 五十七円六十銭 伊香保浴(床)持越(加)入用
- 三拾(マ) 二錢四十銭 八月廿六日より同三十一日迄常費
- 十二円 車直シ
- 九十五円 九月入用
- 三拾五円 伊セ金払
- 拾五円 小使不足
- 三十円 葬入用
- 二十円 同足シ
- 二十円 小使足シ
- 十六円三十銭 猶不足(内)竹内祝
- 百五十円 小使 伊セ金

- 十月三十一日 十一円四足シ
- 十一月一日 百三十九円 小使(千代悦)ニ付ヤリモノ
- 十一月十九日 二十(マ)円 竹内(小山田ノ分)別口
- 同
- 五十円 外入用
- 十二月分 内二十八円学校連フルマヒ
- 百十八円 石碑代二十円余モ此内
- 十二月五日 二十円 実母歳暮 今年ハ別段
- 二十円 フロウ同(マ)
- 十二月廿二日 百円 九十八円 内十円正矩五円フロ五円実母三円(マ)
- 照(マ)ヘヤル是ハ東京府講義謝礼(マ)内ヨリ(加)クレシ故ナリ
- 百円 一月分
- 四十円 伊セ金(備外注記)
- (年替) 六十円 暮并二一月分足
- 九十二円 三月分
- (二)月分入用 下葬礼入用 上病中入用

三月二日

三十円 伊せ金

三十九円七十銭 小使不足

四月一日 百円 四月分

三十円 伊せ金

五十円 洋書

百円 五月分

(採池) 五十円 伊せ金

(採池) 二十円 洋服

(採池) 三十円

十円 正矩へ東京月謝の内よりヤル

二円 同断フロウへ

四拾五円 伊せ金

十三円五十銭 竹内

二十二円 大工

(採池) 三十一円 洋服

(採池) 十九円五十銭

(採池) 四百円 修繕

但別二帳アリ

百二十五円 (五月入用足)

下六月十八日 六月分共

六拾四円 足シ

上五月十二日

▽四百円 普請金前出シ

六月十八日

▽三百円 普請金前出シ

二十四円 山田明治十二後半年分

八十円 七月小使

七十円 (イセ金)

盆ヤリモノ等

フロウも此内

五円七十五銭 竹内礼

七月十九日 小山田并

兄弟共

△(式) 百円 普請金

七月廿日

二十円 七月小使足

同 九十円 八月分小使

十円 正矩へ東京月謝ノ内ヲヤル

八月十九日

▽二百円 普請前出シ

同日

七十円 洋書代

同日

三十円 小使後シ

九十円 九月 小使

四十円 イセ金秩父屋

九月一日

▽二百円 普請金

九月十九日

▽二百円 普請金

同日
六十円 九月足
九十円 十月分小使
十月十一日
四十円 小使足シ
同日
二十円 イセ金
同日
△二百円 普請金
十月三十一日
△三百円 普請
同日
八十三円五十銭 同入費
十一月十六日
四十円 右ノ足
同日
八十円 十一月分
同日
△三百円 普請金
拾円 東京謝義ノ内 正矩
四十一円十六銭四リン 洋書
十二月十六日
△三百円 普請

加藤弘之日記——明治十一年一月—明治十三年十二月—

〔^{採酒}五円〇〇七銭四 坂町
二円三千六銭 赤坂
二円二十七銭 麴町
六円〇六銭一厘 采女町
十円〇〇三銭 高輪
十円〇五十七銭五 田町〕
△五十円 普請
十二月廿九日
本代〔但此代ハ既ニ前ノ出ル
ノ部ニ合算シタルナリ〕
三拾五銭 通議
五十六銭 教育史略
四円四十二銭五リン 〔統日本記
旧事記
先哲叢談〕
八十五銭 王代一覽
十五円八十八銭 大日本史
拾五円四十銭
口論贊 三十銭
温泉案内 拾八銭
右一月中
〔^{採酒}二円五十銭 太平記〕
五十銭 古語拾遺
二円廿五銭 東鑑
九拾五銭 北條九代記

九十五錢 日本史贊藪

一四七十五錢 貞丈雜記

八四五十錢 史徽坂本文廿四冊

五円 參考太平記

右三月中

三四五十錢 保元平治物語

壹四七十五錢 三鏡

貳四貳拾五錢 愚管抄

所有地所并家作

高輪北町拾五番地

芝 田町六丁目二番地

高輪北町廿五 廿六番地

下谷長者町二丁目十六番地

(改正) 百二十六坪四合五勺

(同) 価金二百〇六四七十四錢六厘

下谷車坂町六番地

(改正) 二百〇四坪六合五勺

(同) 価金二百二十二円五十五錢七厘

四谷坂町二番地

(百三拾坪三合)

(改正) 二百十五坪七合

(同) 価金百八十二円八十錢六リン

三田二丁目二番地内家作計

采女町七番地

(改正) 百三拾坪三合

(同) 価金二百四十九円拾九錢九厘

煉化 宮繕方

三十間堀 杉山

建具 桜田久保町

神保直次郎

祝町二番地小川如川方同居

加藤意則

嘉永二年正月生

高輪埋立ノ事 六月七日 千六百八号ニアリ

(金時計番号 28631)

明治十三年

○一月

一日 快晴

在宅諸人年賀来ル

二日 小晴夜雨

午後西久保其外へ年賀参ル

三日 小晴

在宅諸人來ル夜正矩方へ參ル青木駿湯合某參居ル

四日 晴 日曜

午後青松寺講談會ニ參ル講題ハ

日本ノ地勢ト皇統トノ關係

五日 晴

午前午後共在宅

六日 晴 昨夜ヨリ寒甚シ今日寒入

午後西國川長江濱尾五十嵐富塚羽田野坪内ヲ招キ年始祝酒ヲ出ス

午後八時過歸宅

七日 晴

文字兩三日前より風邪之氣味ノ処今朝俄ニ甚敷竹内氏ヲ頼ミ早速

被參吳大凡九時ノ事午後二時二十分迄附添イロく試療致被與タ

レトモ遂ニ其功ナク後ニハ昏睡状ニテ午後二時二十分頃死去ス尤

モ前同氏ノ指示ニテ池田ヲ頼遣シタレトモ留守依テ東京府病院雇

ブツケマン氏ヲ頼同氏直ニ被來タレトモ既ニ其時死時來レルヲ以

テ如何共スル能ハサリキ可悲齡四年十ヶ月ナリ即明治八年ノ三月

十八日生誕ナリ病名急性腦水腫ナリ

八日 晴

今日午後二時出棺小石川念速寺ニ葬送但同寺ハ朱引内ニテ埋葬被

禁故近地同宗新福寺ニ埋葬ス一昨年死セル花子并ニ昨年死セル姑

氏ト同処ナリ文操ト法名ヲ命ス

九日 小晴

今日午後念速寺へ參リ新福寺墓參寺ハ拾円其外読經僧代一円五十

錢(六人ナリ一人ニ付二十五錢ツ)仰僧二十五錢穴堀七十五錢

(二人故ナリ)

十日 晴

出学

十一日 晴 日曜

終日在宅

十二日

出学。午後三時ヨリ文部省集會九時過歸宅

十三日 晴

午後三時より東京府庁国法汎論講義ニ罷越ス但月曜日定日故昨日

ナレトモ昨日ハ文部省集會故今日ニ延引歸り道先日文字子診察頼ミ

爾人ブツケマン氏方へ參り謝礼三円ヲ遣ス。今日文字一七日ナレ

トモ宮繕中取込延日ト定ム。午後十一時頃今川丁元小出邸之処飼
葉屋より出火数戸類焼学校辺ト存シ急ニ出学併し無難直ニ帰ル

十四日 晴

出学

十五日 晴

大学建築之件ニ付工部省宮繕局へ参り夫レヨリ出学三時より修文
館学士会院会集へ罷越ス夜九時前帰ル

十六日 晴

終日在宅

十七日 晴

出学三時後学校より直ニ下町辺へ散歩新橋ヘン食事^{ウナ}六時より
又学校へ参り演説アル故ナリ演説者今井巖^{ギヤ}二見鏡三郎中限敬造ナ
リ夜十時前帰ル

十八日 晴

在宅

日曜 大ニ寒^{午前七時}
三十八度

十九日 小晴

出学三時過東京府国法汎論講義

廿日 晴

午後四時より両国中村楼ニ於テ江木高遠米行ニ付講談社員送別但
其他ノ人モ参ル夜九時前帰宅。秩父お富ノ二女波ヲ引取り世話ス
ルコト定メ今日参ル旧曆ニテ十三歳ナリ

廿一日 晴

出学

廿日 小晴 風

出学

廿三日 小晴 寒シ

明後廿五日ハ亡姑一周忌并亡児文子法事致候心得ノ処新宮繕中始
メテ法事ヲナスハ不快之心持故今日座敷開キノ心得ニテ正矩并市
川老人ヲ招キ一酌。今朝居間ニ引移ル下ハ大抵出来ニ階ハ未夕落
成セス

廿四日 晴 寒

出学

廿五日 小晴 日曜

今日亡姑一周忌并亡児法事十二時執行念速寺四谷市川高輪等其外
来ル

廿六日 晴 夜風

本郷大学建築ノ件ニ付工部省官繕局へ参リ夫レヨリ出学。三時ヨリ東京府へ参ル講義

廿七日 晴

在宅

廿八日 晴

出学三時後下谷辺散歩。今般安田銀行ニテ軍厚社ナル一社ヲ設ケ積金ヲナシ二十年ニシテ元利ヲ取ル法ヲ立ツ故ニ照マロ高子晴彦幸子竹吉徳子六人共一口ツ、ヲ入ル、一口ハ一ヶ月一円ナリニアリ規則書後ニ此コトヲ止メ金ヲ取返ス

廿九日 晴 昨夕ヨリ暖

在宅。午後池田謙齋来ル

三十日 晴 風

孝明帝祭日

三十一日 晴

出学其後散步夜演説渡部渡甲賀宣政大野金三郎ナリ夜十時半帰ル

二月

一日 小晴 日曜

午前大久保一翁来ル

二日 晴

出学夫レヨリ東京府講義ニ参ル

三日 晴 昨日より大ニ暖

出学

四日 小晴 夜大風

今日今度帰国スヘキ大学物理学教授デーブスキー氏(仏人)ヲ送別トシテ両国向青柳亭へ招キ余興ニ濃茶薄茶并ニ活花ヲナサシムベルソン神田少輔九鬼大書記官中野健明古賀護太郎野本彦一等参ル寺島文部卿ボアソナードハ断リ夜十一時頃帰宅。十一時過橘町ヨリ出火ハマ町大橋辺迄類焼大火

五日 晴

出学。午後六時頃大学大工小屋出火一棟ヤケル早速参ル夜十一時過帰ル。今日銀座二見ニテ写真ヲトル

六日 小晴

出学

七日 小雨併キリアメ

今朝補善親参り先般貴邸より鷹司家へ上水引樋ヲ致シ夫レより自分宅へ引キ候儀ハ実ハ願書ハさし出置候得共未タ願濟ニハ無之貴下より書面出不申候而ハ不相成よし申聞候間左ノ如ク認遣し置きたり

一麴町区上二番町四十四番地拙者邸内より隣地鷹司熙通邸内へ玉川上水引樋示談之上取設候ニ付而ハ現今之処聊差支故障等無御座候依之此段申上候也

明治十三年二月九日 加藤弘之印

東京府知事 松田道之殿

右ノ文中現今之処ト云フ四字ハ後日都合ニヨリ右ヲ断ル事可有哉モ難計故此ノ如クシタルナリ

右引樋ニ付テハ自然草木植付物置等建築モ出来サレハ自宅井戸ヨリ奥ノ方ハ全ク隣家ノ為メニ妨ケラル、理ユヘ其償金トシテ一月三十錢可出旨隣家鷹司へ申談ストイヘトモ承諾セス因テ引樋ヲ断ラント思ヒシモ然ルトキハ桶力大二困却スルコトトナレハ同氏ハ知己ユヘ甚タ氣ノ毒ニ思ヒ無拗引樋ヲ承知シタリ桶ヨリ毎月二十錢出スコトトナレリ故ニ以後若シ桶力引樋ヲ要セサルニ至レハ自宅ヨリ隣家へノ引樋ハ断ル心得ナリ

八日 雨夜ニ入り快雨 日曜

午頃物理学教授チブースキ氏帰国ニ付新橋迄送リタリ。今夜ノ雨ニテ実ニ安心セリ蓋シ近日照続キニテ火事多カリシ故ナリ

九日 雨快シ夜甚シ

出学三時後東京府講義

十日 小晴

在宅

十一日 雨

紀元節。右ニ付参朝ノ違アレトモ疾ヲ以テ辞ス。終日在宅。徳子少々不快。鈴テンプラニ当リ夜吐ス

十二日 雨暖

出学。夜九時一寸地震

十三日 曇

在宅

十四日 晴

出学。夜学校演説ニ付聴聞ニ参ル

十五日 晴 日曜

午後学士会院へ参リ文法ヲ定ムルニハ先ツヒロ、ヂーを研究する事必要故、其生徒ヲ欧州へ派遣スヘキ旨の議案ヲ出シ之ヲ演説す

十六日 雨午後晴

出学。午後東京府国法汎論講義ニ参ル

十七(休)日 曇

在宅

十八日 雨晴

出学

十九日 雨

終日在学。徳子追々快方ナリ。秩父波を引取り世話シタルニ都合アリ五六日前より右ヲ止メ其姉イヨを引取り世話ス十五曆旧

廿日 曇

出学

廿一日 雨

今日小石川墓立ニ参ルソレヨリ王子へ散歩扇屋ニ而午飯雨ニ逢ヘトモ歩行ニ而本郷より人車三時過帰ル竹吉風邪の由申越ス

廿二日 晴 大暖 日曜

午前一時五分前地震大ナリ七十五度ナルヨシ

廿三日 晴

出学午後東京府講義

廿四日

在宅。土蔵片付け

廿五日 晴

出学。夜山口尚芳来ル

廿六日 晴

出学

廿七日 曇夜雨 大暖

在宅。午後紀州人徳富一敬ナルモノ来ル

廿八日 晴 大二暖

出学。神田文部少輔議官ニ転シ九鬼文部大書記官少輔ニ転ス。今日足立娘千代福田良兆方へ嫁入ニ付宅迄参リ夫ヨリゆく。今日諸

官員転任アリ元老院副議長河野敏鎌文部卿トナリ文部大書記官九鬼隆一文部少輔トナリ旧文部卿寺島ハ無任参議旧文部大輔田中ハ

司法卿トアル

閏年ナリ(休)
廿九日 (晴) 雪暖 日曜

今日午後三時より一同四谷へ被招参ル但妻徳子ハ病氣故不参

三月

一日 曇

出学帰り明六社講談会社連衡会ニ付三河屋へ参ル夜九時前帰ル

二日 雪小一(採種) (加筆) 珍敷大雪

今日家族共熱海ニ出立スヘテ処雪ニ付延引。夕方濱尾来ル

三日 晴

今日快晴故家族共九時出宅十時半ノ蒸氣車(マ)ニ付神奈川迄参リ神奈川ニ而午飯ソレヨリ雇車ニ而出立戸塚泊之筈我等モ神奈川迄見送ル人数妻晴彦幸竹吉徳市川同居之小林妻金物屋老婆おみよナリ尤高輪浅次郎氏ヲ熱海迄世話ニ頼ム

四日 快晴

出学。今日家族共小田原ニ着シタルナラン。今日髪ツミ

五日 快晴

在宅。昨日より四谷お島滞留お高ト遊(出遊)。午後二時過家族共戸塚并小田原より出セル書状一度ニ着無事のよし戸塚の旅宿ハ亀屋小田原ハ小清水のよし申越ス。四時此方よりも富士屋喜太郎(熱海宿)ト定ム方へ書状新聞ヲ出ス

六日 晴

出学。午前正之留守ニ頼ム高子計故ナリ

七日 晴 日曜

午前正矩来午飯ヲ(出遊)羽田野用向來ル。午後両國中村楼江講談ニ参ル。駁(天賦)人権論と云フ題。午後四時頃留守中ニ熱海より手紙来ル一昨五日午後五時ニ無難着のよし浅次郎ハ来十日本岡(出遊)。同道帰京発程のよし申越ス。直ニ此より手紙ヲ出ス。今日正矩へ托シ中山へ四五六七合シテ四ヶ月分十六円并船田へ香奠七十五錢を遣ス

八日 雨

出学。午後六時頃熱海より手紙着。正之留守番

九日 晴曇り又晴夜雷 両(出遊)

在宅。午後高翁一寸来リ直ニ帰ル

十日 快晴

出学。正之留守番

十一日 快晴

在宅。午後七時子ツトウ氏へ被招参ル同座大島高任浜尾丹羽某今井巖ナリ夜十時帰ル

十二日 快晴

出学。午後六時十分より予備門教師フエントン方へ被招参ル同座
浜尾森ナリ十時頃帰宅。高輪浅次郎昨日帰京ノよしニ而来りいろ
く話ヲ聞ク。正之留守番頼ム

十三日 快晴

在宅。熱海より手紙来ル皆無事。高翁来ル。高子四谷へ参り一泊

十四日 快晴 日曜日

在宅

十五日 快

出学。三時より学士会院十時前帰宅。熱海より手紙来ル無事。正
之留守番頼ム

十六日 小晴

在宅。高翁帰ル。午後買物ノ為メ勸工場其外へ参ル

十七日 快晴

出学。午後六時すぎより九鬼隆一へ被招参ル但シ其席ニ田中司法
卿帰京ノ見舞ニ参ル。熱海へ書状を出す。正之留守

十八日 小雨晴

在宅。平岡盛三郎熱海より帰り候ニ付参リ家族共無事の旨申聞ル

。夕方吉田市十郎参リ、化石ノ鋸ヲクレル

十九日 小晴小雨

出学。熱海へ手紙ヲ出ス。熱海より手紙参ル。正之留守。夜大風
又雨モアリ風ハ南ナリ

廿日 風雨随分盛ナリ

在宅。十時スキ雹降ル今朝ハ北風トナル。今日春季皇靈祭ナリ。
明日足立里帰ニ付照磨参リ候様申越候得差支有之断ル但肴料一円
五十錢遣ス。熱海より手紙さし越し最早余程飽キタル故廿四五日
ニ迎の者遣呉候様申越ス仍テ廿四日頃自分ニテ可参哉ト考フルナ
リ

廿一日 晴 日曜

午前濱尾方へ参リ明日湯治願ノ事ニ頼ム。正矩参リ午飯を出ス。
午後浅次郎氏参リ昨夜右宅へ賊忍入紙入其外ヲ被奪旨申聞ル。弥
自分ニテ廿四日出立熱海へ迎ニ可参旨決定之よし手紙を出す

廿二日 曇小雨

出学。熱海行の願を出シ済ム先ツ二週間トスレトモ僅ニ一週間の
積リ。高翁来ル。熱海より手紙来ル(来書)。今日迄カスバリ氏人種ノ
部四分一程読カケ

廿三日 雲雨

熱海へ手紙出し明日之迎立ヲ知ラセタリ。熱海より手紙来ル。

(貯金中より七拾円を仮出シトシテ之ヲ三月分該費額残三拾三円

九十錢ト合シテ即百〇三円九十錢トナルカ故ニ之ヲ二分シテ五十

三円九十錢ヲ余飯ニ熱海行ニ持行キ他ノ一半五十円ヲ宅ニ置キ惣

私方ニ充ツ)

(但シ普請入用留守中ハ此中ヨリ私置キ帰宅ノ上夫レ々勘定ノ

筈)

廿四日 朝一寸雪午後晴

午前七時出宅新橋より鉄道ニテ神奈川へ参りソレヨリ人力を雇ヒ

小田原小清水へ着一泊午飯藤 午飯美松

廿五日 晴

午前六時三十分比小田原を発し午後二時過熱海富士屋江着、家族

共至極無事午飯吉浜 中西ワルシ

廿六日 晴

午後木ノ宮へ参り其外散歩。午後より晴彦少々不快

廿七日 晴

諸処散歩。晴彦追々よろし

廿八日 晴 風

今日家族共一同七時熱海出立帰途ニツキ吉浜鈴木ニテ午飯三時半

過小田原へ着ソレヨリ人力を雇ヒ大磯江着山本へ一泊ス此宿本駅

第一等ノよし可モナク不可モナシ

廿九日 晴曇晴夜大雨

午前七時出立戸塚伊勢吉ニテ午飯一時三十分前神奈川へ着二時四

十五分横浜発ノ蒸気車ニ参り新橋(M.V.)ヨリ人力車ニテ午後五時帰宅。

竹吉今日より直ニ帰宅存外オトナシ

三十日 快晴

在宅。髪ツミ。夕方正矩来夜食。夕方田中司法卿来ル

三十一日 雨

出学。今晝高翁少々不快

四月

一日 快晴

在宅。午後竹内氏江参。今日明六社講談会聯合会之処断ル

二日 晴 夜雨

出学。お徳少々風邪

三日 雨 朝少々雪大二寒

今日ハ神武天皇祭。予備門教員フエントン氏今日帰ルニ付新橋ステーション迄見送りニ参ル

四日 雨午後小晴 日曜

午前正矩来ル大島高任来ル

五日 晴

出学。午後六時より田中不二磨方へ被招参ル夜十時帰ル同座七八人

六日 曇 小雨

在宅。下女初ノ父相州高座郡海老名郷上郷村六番内山光忠来ル午後六時より文部省ニ而音楽教師饗応ニ付参ル夜十時帰ル

七日 晴

出学帰り古賀護太郎病氣見舞へ参リ又河野文部卿方へ参ル

八日 快晴

出学

九日 快晴

在宅。坂上半七へ預ケ置キタルステレオタイプ五十貫目ヲ同人へ

売リ二十五円ヲ請取ル

十日 晴 午後風夜大風

出学。夜大学演説ニ出ツ

十一日 晴 大風 日曜

午前早ク一寸九鬼へ参ル。十二時頃より家族等向島花見ニ参ル

十二日 曇 小雨小晴

出学

十三日 曇

在宅。午後三時過四谷地面へ参ル

十四日 快晴

出学ソレヨリ市中散歩

十五日 雨

午後学士会院へ参リ九時過帰宅

十六日 雨

出学。今日化学会より招待ヲ受ケタレトモ差支有之断祝トシテ金二円遣ス

十七日 小晴一寸雨

在宅

十八日 晴 日曜

午後外出散步。子供高翁新富町芝居へ参ル

十九日 晴

出学。今日文部卿学校へ参ル

廿日 晴

出学。今日濱尾新文部少書記官トナル。髪ツミ但多吉差支有之他人代リニ参ル

廿一日 晴

出学。明廿二日御用之儀有之ニ付午前十時太政官へ出頭候様内閣書記官より達アリ。松井へ願置キタル出石宅油絵等来リ而正矩方へ達シ同人持参致シクル随分出来よろし

廿二日 晴小雨

今日御用ニ付九時すぎ太政官へ出頭文部省三等出仕ニ被補ソレヨリ文部省へ参リ候処大学三学部綜理之任囑托ノ達アリソレヨリ又大学へ参ル

廿三日 雨晴

出学。今日服部一三大学三学部綜理補兼予備門主幹被命

廿四日 晴 夜雨

出学

廿五日 晴 日曜

在宅正矩来ル午饭ヲ出スウナギ。大ニサムシ

廿六日 晴 風

出学。午後二時前より工部省へ参リ平岡へ面会セント欲ス同人病氣ニ而不参右面会不出来

廿七日 晴 大風

出学。夕上野精養軒ニ於テ濱尾服部招待

廿八日 晴 風

午前四時前音羽より出火随分ヤケタリ出学。午後三時半込火事

廿九日 晴 風

出学

三十日 雨サムシ

出学。今日幸子試業

五月

一日 晴

出学。ソレヨリ下町也。青陶水鉢ヲサヤ町ニテ買フ九円三十銭。

明六社断ル

二日 晴 日曜

在宅

三日 晴

出学

四日 曇晴

出学。今日旧南校教員生徒親睦会ニ付可参旨申陳シタレトモ差支之旨ニ而断ル

五日 晴

出学。午後七時築地へール方へ被招参ル夜十時半帰ル

六日 晴大風夜雨

出学

七日 曇小雨

出学

八日 晴

出学。今日招魂社花火皆参ル

九日 晴 日曜

在宅。朝玉野来ル正矩来ル

十日 晴

出学。徳少々不快竹内へ遣ス。今夕九鬼へ被招タレトモ差支之旨ニ而断ル

十一日 晴

出学。帰リ下町買物

十二日 晴

出学。出学カケ工部省へ参ル。髪ツミ

十三日 晴

出学

十四日 小晴

出学。服部昨日着今日ヨリ出ル。今晚二時頃より高女吐四度計アリ竹内へ頼ム小鶴乱ノ類ト云フ

十五日 晴

出学三時より学士会院九時前帰宅。高子大抵全快

十六日 曇雨 日曜

在宅。家族等高輪へ稲荷祭ニ付参ル夕七時頃帰ル

十七日 晴

出学。中山より手紙さし越ス

十八日 晴

出学

十九日 晴

出学。高女今日より番町学校へ裁縫稽古ニ参ル。今日秩禄公債五

百廿五円元金当ニテ渡ル并ニ其利子但先月迄

廿日 晴

出学

廿一日 晴

出学但し出学カケ工部省へ参ル。今日金禄公債利子半分出ル予ニ十五円廿銭ナリ

廿二日 雨

出学。学校へ北京同文館綜理丁健良 (Martin) 来ルフルヘッキ同道ナリ是ハ米人ニテ既二十一年間同学校ノ綜理ノ由此人近頃ブルンチリ万国公法ヲ反訳スト云フ (漢文ニ)。退学ガケ下谷町徒町川上冬崖方へ参ル。今晚大木参議夜会ニ被招タレトモ断ル

廿三日 晴 日曜

(休也) (出学) (加筆) (在宅)。家族当勤工場其外へ参ル。正矩来ル午饭

廿四日 晴

出学。今日医学部教師饗応ニ付招待ヲ受ケタレトモ断ル。高橋是清よりカケモノ二幅を求ム山水代価ニ拾五円

廿五日 晴

今日休ム

廿六日 晴

出学。竹吉徳子少々不快

廿七日 晴

出学。本郷船築場へ参り夫れより予備門親睦会へ被招方代橋方代軒へ参ル

廿八日 晴

出学

廿九日 晴

出学。今日六時より延遠館ニテ外国教員饗応因テ一時頃より右へ参ル無滞済タル八十一時前帰宅十一時過

三十日 晴 日曜

在宅。正矩来午饭

三十一日 曇

出学

六月

一日 雨

出学。明六社断ル

二日 雨

出学帰り文部卿宅へ参ル逢ハス

三日 曇

出学一寸文部省へ参ル今日服部少書記官へ被伝總理補被命両児追々ヨロシ。大工棟梁服部来ル

四日 晴

出学。退出カケ下町散歩。七時予備門教授コクス方へ被招同座服部森

五日 晴

出学。今日十二時御陪食被仰付候旨一昨日宮内卿より達有之ニ付十一時頃より参内十二時御二階ニ於テ御陪食被仰付同座有栖川宮東伏見宮北白川宮西郷参議山田参議徳大寺宮内卿東久世通禧(議官)吉井(友)(林成)(加筆)実(議官兼工部少輔)三好重臣(陸軍中将)林成康(陸)(林成)(加筆)軍少将)ナリ一時過相済御別間ニ於テコーヒ一を賜り暫時御談話ニテ二時前退出。今日宅ニシ一モコックを頼家族共洋食ヲ催ス。今日風邪之気味心持悪シ

六日 晴 日曜

在宅。午後六時三十分より加賀屋敷教師ホキットマン氏ノ招ニよリ参ル同座教師四五人濱尾服部目賀田十時過帰ル

七日 朝大雨午後晴

出学

八日 晴

今日十時御用召ニ付出ル正五位ニ被叙夫レより出学。午後七時過
麴町材木町湯屋より出火西北風ニテ俄ニ大火トナリ三百軒余ヤケ
ル三軒谷河瀬方へ差置キタル理学部教授ベルソン氏類焼〔ナ〕ニ
付参りいろく世話致し翌暁一時頃帰宅此火事若し前日ナレハ南
風烈シカリシユヘ火の粉ハ十分ニ参リタルナリ

九日 晴

出学

十日 晴

出学。麴町類焼の貧窮人江二十五円施与可致旨区役所へ申遣ス

十一日

出学。退出カケ大隈参議方へ参り学校増額の事ヲ談ス

十二日

出学

十三日 日曜

〔出学〕^(林) 在宅。正矩来。今日西洋料理

十四日 晴

出学。一旦休会ニ致居候国法汎論講義猶今日より学校ニ而始ム

十五日 晴

出学。学士会院集会ニ付参ル今日前半分年金百五十円出ル

十六日 雨

今日三重山梨京地御巡幸御発輦ニ付奉送可被出候処不快ニ而断書
出ス

十七日 晴

出学。伊藤参議方へ参り学校増額の事を談ス併し六ヶ敷

十八日 雨

今日御発輦恐悦ノ為メ皇太后宮皇后宮へ参賀夫レより出学。夕方
七時頃高子庭ニ而コロビ大ニ驚キ早速竹内氏小山田ヲ招ク但格別
之事ニ無之

十九日 雨

出学

廿日 雨 日曜

在宅。正矩隣家ノ子供ヲ連相来ル午饭

廿一日 雨

出学

出学

廿九日 晴

出学

廿二日 晴一寸雨

出学。明日自分誕生日ナレトモ都合有之今日二代フ正矩来ル幸子
誕生日モ三十日ナレトモ今日ニ取越ス

三十日 晴

廿三日 晴
出学。帰り下町築地へ参ル

今日ハ大被ニ付勅任名代トシテ午後一時三十分参内三時前帰宅。
五時より上野精養軒へ参ル今度帰国ノベルソン。ジュエトタリー
ンク送別会ノ為メナリ十時過帰宅

廿四日 曇時々雨

出学

七月

一日 雨 夜大雨

出学。明六社断ル

廿五日 雨

出学

二日 雨

出学。新製一人乗人力車出来今日検印ヲ受ク代金三拾^{サン}卷四余ナリ

廿六日 晴

出学

三日 雨

出学

廿七日 晴 日曜

正矩来ル午後福田良作夫婦母渡部渡ヲ招ク

四日 晴 日曜

廿八日 晴雨

在宅正矩来午饭。今朝より徳子不快午後十二時過引付ケソレより
竹内并ブーケマンヲ頼ム急性腸カタルノ由熱大ナリ因テ今晚看病

徹夜

人

五日 雨

十一日 晴 アツシ 日曜

徳子同様竹内午前八時参り猶又午後二時三十分参ルブーケマンも
参ル併し少々ハよろしき方之よし。今日学校断

在宅

六日

十二日 晴 アツシ
出学。夕方正矩来ル

学校断今日徳随分不宜ブーケマンを頼ム竹内参呉レル

十三日 晴少々冷

七日

出学

今日午前学校へ出ツ今日ハ少々よろしき方ブーケマン竹内参り呉レ
ル。(探偵)〔文部省并学校へ出ツ〕

十四日 雨

出学

八日

学校并文部省へ参ル今日追々よろし

十五日 晴

出学

九日 曇雨

文部省并学校へ出ツ徳子追々よろし。竹打知雄地券ヲ質ヲ取り百
五十円用立ツ

十六日 晴

但内五十円ハフロウより

今日ヨリ来月十日迄廿五日間休暇卜定マル。午前工部省へ参り西
洋作画図改正積書等ヲ平岡へ托ス

十日 曇後雨

十七日 晴 清暑

今日学位授与式ニ付出学夜十二時前帰ル学位ヲ受タル生徒三十八

在宅徳子おひくよろしけれ共何分食物ノミ好ミ実ニ困難云フ計

なし

十八日 晴 日曜

在宅

十九日 晴 今日土用入

在宅。夕方四谷へ出船照鷹出石へ参候事ニ付相談ノタメ相越ス食事

廿日 晴

在宅。今夕平岡通平方へ被招参ル市川一同并内藤某。午前小島信民三島毅来ル

廿一日 雨

一寸出学

廿二日 雨

在宅

廿三日 晴

在宅。今日海路還幸奉迎スヘキ所所勞ニ付断差出ス。午前正矩来ル

廿四日 晴

在宅。去年十二月中独逸へ注文シタル書六部到着受取ル

廿五日 晴

在宅

廿六日 雨

一寸出学

廿七日 雨

廿八日 雨

一寸出学

廿九日 雨

三十日 晴

今日祠堂ヲ二階へ遷ス今日母大祭且正矩出石掃省立振舞ノ為メ招ク但一同也高輪浅野モ同様

三十一日 晴 アツシ八十五度

在宅

八月

一日 晴 アツシ

故仙石左兵衛孫澤井禹策ト云フ人尋参レリ此人今ハ福知山下柳町
ニ住ス商業ヲナスト云フ

東京旅宿ハ芝南佐久間町一丁目一番地加納とら方（探偵）明六社断ル

二日 晴 アツシ

出学。八十八度

三日 晴 風アリ

牧野照婦省ニ付金借用申込四十円貸ス但本月十五日月給ニ而返済
之事ニ約定右月給受取書ヲ預リ置ク

四日 晴

今日東京丸出船ニ付正矩照磨右に而右石へ参候事故十時四十五分
ノ汽車ニ而横浜へ参リ午後二時頃右等乗船六時出帆ス余ハソレヨ
リ晴彦高幸等トトモニ横浜鹿島一泊明日江ノ島へ参ル筈

五日 晴

午前七時半頃人力車ニ而横浜出立保土ヶ谷（つぎ）より本海道へ出江ノ島
へ参リ岩本院一泊着ニ時なり五時すぎより一同弁天山へ参ル然ル
ニ高浪ニ而岩屋へ入ルヲ得ス

六日 晴時々雨

七時江ノ島出立午後五時帰宅。今朝五時半神戸着之旨伝報ヲさし
越ス但未レ帰内ナリ

七日 雨

在宅。出石へ手紙ヲ出ス

八日 雨 日曜

在宅。出石行ハ多分今日午後着シタルナラン

九日 曇雨 時々

在宅

十日 曇雨 時々

在宅

十一日 晴 冷

出学

十二日 雨

在宅

十三日 晴

出学。去八日正午頃出石へ着候旨之郵書今日四時頃着

十四日 晴 風

在宅。今日出石へ新聞并書状を出し且正之へ托し用心金惣計拾五
円ヲ出ス

十五日 晴 風 日曜

午前岸本辰雄今井巖来ル。在宅。植木屋
三人

十六日 晴 風

出学。今日髪ツミ。牧野照へ貸シタル金今日月給ニテ請取ル月給
ハる根ニ托し請取ニヤル

十七日 晴

在宅 今日植木屋
三人参ル

十八日 曇雨小晴

今日植木屋四人

出学。一寸文部省へ参ル。夕方出石より書面参ル多分本月三十一
日の船ニテ帰京ノ積のよし申越ス

十九日 晴 (加筆) 植木屋
三人 時々雨

在宅。念速寺来ル。出石手紙出ス

廿日 晴 植木屋三人

出学

廿一日 晴 植木屋三人

在宅

廿二日 晴 アツシ併八十五度 日曜

在宅

廿三日 晴 アツシ

出学。星学新教師来ル。学校帰り浅草文庫并島田重礼方へ参ル

廿四日 晴

在宅。今日出石より手紙来ル来廿六日同処出立京坂見物之上卅一
日出帆之汽船ニテ来月二日ニ帰京之筈之旨申越ス

廿五日 晴 夜暴風雨

出学。午後七時頃より暴風雨トナリ翌晝休ム但シ雨ハ少シ

廿六日 晴

カブト町四番地藤田熊吉郎より金録公債千円ヲ買フ尤内百円ハ妻
之分

相場百円ニ付六十八円五十五銭

廿七日 曇晴

出学

より帰ル因テ十一時四十分新橋にて迎フ

廿八日 曇雨

在宅。午後六時より用事アリ九鬼へ参ル晩食ヲ出ス

三日 晴 冷

出学。午後四時すぎ正矩来一酌

廿九日 日曜 晴夜雨

在宅。出石より廿三日癸之書状来ル

四日 晴

在宅。午後六時半より新教師ボール饗応ニ付上野精養軒へ参ル午後十一時前帰宅

三十日 晴

出学

五日 雨 日曜 冷

在宅。午前正矩来ル

三十一日 雨 冷

在宅。午後九時三十分神戸より電報来ル今日午後五時十分ニ高砂丸へ乗込之旨申越ス

六日 曇 小雨 髪ツミ

出学

九月

一日 雨晴 冷七十五度位

出学。明六社断ル

七日 晴 アツシ

出学午後学校より直ニ目黒へ参ル錦魚ヲ求ムル為メナリ然ルニ目黒錦魚屋なし故ニ帰り麻布宮村町七拾八番地山本甚兵衛と申錦魚屋テ錦魚緋鯉其外ヲ求ム

二日 曇雨晴 冷

今日正矩照磨帰京ニ付昨夜より高翁正之ハ横浜へ参リ居私等ハ晴彦同道今朝十一時頃新橋停車場迄参ル十時四十五分の車ニ而横浜

八日 晴 アツシ

出学

九日 晴

出学

出学。後二聞ケバ今日京橋区大風のよし

十日 晴

出学

十七日 晴

出学

十一日 晴

出学

十八日 晴

出学

十二日 晴

(休務) (居宅)
〔出学〕〔日曜〕在宅

十九日 晴 日曜

今度正之福岡県十等属被命(先月廿日頃)来廿二日出立ニ付振舞

十三日 晴

出学。今日より猶又国法汎論講義始マリ

廿日 晴

出学

十四日 晴 アツシ

出学

廿一日 晴

今日風邪ニ付断

十五日 晴 アツシ

出学。三時より学士会院会院ハ文部省修繕中昌平館ニ移ス午後八時三十分帰宅

廿二日 晴 アツシ

出学。正之今夕出帆ノ船へ乗組

十六日 晴一時大雨

廿三日 晴 アツシ八十五度

今日秋季皇靈祭ニ付参賀之処断

廿四日 晴

出学

出学。明六社断ル

廿五日 晴

出学

二日 雨

出学

廿六日 曇雨 日曜

今日専攻学舎より被招三時より参ル即学校ナリ

三日 暴雨(加筆) 午後曇

在宅。正矩平岡等来ル正之去廿七日出石へ着即日婚姻候よし即中
村明ノ妹

廿七日 晴

出学

四日 暴風雨 晴

廿八日 晴

出学。下(抹消) (加筆)〔町〕行大倉西洋服談

今暁一時頃より北暴雨ソレヨリ北西ニ変シ四時過より漸々止ム三
時より四時迄之間ハ一秒時ニ平均六十八英里のよし宅少々損所ア
リ植木ヌケル諸処大破損アリ学校も同断

(抹消) (加筆)〔四〕〔五〕日 晴

廿九日

出学

出学

六日 曇

三十日 晴

出学

今日旧法学教授ターリング出立ニ付新橋へ参リソレヨリ出学

十月

一日 一寸雨 曇

七日 曇

出学。文部省教育会會議但シ大学講義室ニテ

八日 曇雨

出学

十五日 晴

出学。ソレヨリ学士会院會議ニ出ル

九日 晴

出学

十六日 晴

出学

十日 晴 日曜

在宅。森醇小菅知淵木場貞長其外来ル

十七日 少晴 日曜

今日神嘗祭ナレトモ所勞断ル

十一日 晴

出学

十八日 晴

出学

十二日 雨

出学

十九日 晴

出学

十三日 曇

出学。今日上野精養軒耶蘇大説教會より招待ヲ受ケタルニ付子供
同道參ル歸リ鳥八十二にて晚飯歸ル今日正矩へ托し山田へ病氣見舞
トシテ金拾円ヲ差置ル

廿日 晴曇

出学

十四日 晴

今日学校断ル

廿一日 小雨

出学

廿二日 雨

出学

廿三日 雨

出学。夜学校演説ニ付出ル木村正辞信夫察

廿四日 晴 日曜

今日中間車夫兼帯ノもの座極マル。午後三時過より一同四谷へ被
招参ル

廿五日 晴

出学

廿六日

出学

廿七日 晴

出学

廿八日 小晴

出学

廿九日 晴

出学。今夜銀座老軒ヤケル石油より出ツ

三十日 晴

出学

三十一日 晴 風 日曜

在宅

十一月

一日 曇晴

出学。明六社断ル

二日 晴

出学

三日 晴

天長節ニ付参内可致候処所劳断。同断ニ付午後九時より外務卿ノ
招請ニより夫妻共延遠館へ可参候処断但妻ハ市川老人夫婦ト共ニ
参ル帰リ十一時過

四日 晴

午前八時前中山郵書来伯父君去廿九日死去之旨申越ス因テ今日よ
り残念来七日迄受ル旨届出度シ。香奠正矩ト共二十五円差立ル
我等拾二円
正矩三円

五日 晴

服部来ル。午後二時下町へ参ル

六日 雨

七日 晴 日曜

在宅

八日 晴

出学。今日より忌明。今日公債利出ル

九日 晴

今日御苑菊花拝見御許候二付。午前丈出勤午後家族一同拝見ニ参ル

十日 晴

出学。徳子先日より病氣昨日大ニよろしき処今日猶悪し

十一日 晴

出学。徳子今日ハ随分よろし

十二日 雨

出学

十三日 雨

出学

十四日 晴

出学

十五日 晴

出学。学士会院

十六日 晴

出学

十七日 晴

出学。夕(孫徳)〔アトニン宅〕(加妻)〔フェノロサ〕方へ被招参ル服部同座夜十二時前帰宅

十八日 晴

出学。今日 皇居観菊会陪覧被仰付且妻娘も同道可致旨二付一時より妻高幸同道罷出ル丸山ニ而立食御相付頗ル盛会ナリキ五時過帰宅。夜九鬼へ被招参ル同座七八人十時前帰宅

十九日 晴

学校所勞断

廿日 晴

出学

廿一日 晴 日曜

今日祖母公祭延シ代日并山田叔父殿祭之心持ニ而午後三時より正
矩ヲ招ク席ニ松井昇植松好仁ヲ招ク

廿二日 晴

出学

廿三日 雨

今日新嘗祭但所勞断リ

(採捕)
〔廿三日 晴〕

(出)

廿四日 晴

出学

廿五日 晴

出学

廿六日 晴

出学

廿七日 晴

出学。下町行

廿八日 晴 日曜

在宅。正矩来午饭

廿九日 晴

出学

三十日 晴

出学。午後七時コックス方へ被招參ル

十二月

一日 晴

出学

二日 晴

出学退。午後六時前

三日 晴

出学

四日 晴

出学

五日 晴 日曜

今日も出学

六日 晴

出学。早帰髪ツミ。池水始テ氷ル

七日 晴

出学。今日も氷霜

八日 晴

出学

九日 晴

出学

十日 晴

出学

十一日 晴

出学

十二日 晴 日曜

光格天皇四十年祭ノ処所芳断

十三日 晴

出学

十四日 晴

出学但出掛工部省へ参ル

十五日 晴

出学。今日学士会院断。今日会院ニテ来年初半年之会長選挙ニテ
余多数ニテ会長トナレリト云ヘル報知アリ

十六日 晴 大ニ寒シ

出学。今夜十一時過月食。中山三郎ナル者来ル

十七日 晴

出学。風邪之心持

十八日 晴

出学。帰り下町買物等。夜正矩来ル

十九日 晴 日曜

在宅。今日新婢よし給金一ヶ年八円之半金即来年六月十九日迄之
分ヲ渡ス

廿日 晴

出学

廿一日 晴

出学

廿二日 晴 サムシ風

今日元老院教育会議傍聴ニ参ル

廿三日 晴

出学。夜十時五十五分頃地震大ニ甚シ

廿四日 晴 大風

出学。夕正矩照マロ晴彦自分ニ而築地精養軒ニ参ル忘年会之積リ

七時頃帰宅

廿五日 晴

出学。宅ニテ餅ツキアリ

廿六日 晴 日曜

(床通) (在宅) (出学) (出) (床通) 午後買物ニ参ル

廿七日 晴

出学。午後司法省焼失

廿八日 晴 風

出学

廿九日 晴

在宅

三十日 晴 風

在宅。午前十時前神田カヂ町より出火日本橋迄ヤケル但し通り町
ハ別側并ニ河岸迄今年ノ大火ナリ。午後下町へ参ル

三十一日 晴

在宅。今日歳末参賀スヘキ所所勞ニテ断リ差出ス

尾州中島郡

馬寄村皿屋敷

宇佐美新六

同名古屋古渡り町

米沢ヤ横丁

林 鉄蔵

東京麴町区中六番町

二番地

栗山政吉

宇佐美新六弟

宇佐美慶郎

南中島郡馬寄村

真宗東派龍信寺

改進黨保守可争之意義不可相敵視

日本橋区数寄屋町貳番地

白丸一太神樂

鏡味仙三郎

下谷

竹町廿七番地

製煉社

鈴(マ)

三木秀彦

小澤庭二郎

弱食強肉是□□之道矣拾物報知新聞

大坂北浜四丁目三番地

杉原潤水

小石川江戸川町十八番地

中村正直

大畑通二番町六番地

正矩

○人非有天姓人權利依法律而始有權利

○文明開化特生于生存競争与自然淘汰

○不疑則不求々々則不知

○疑生智信招愚

宇宙万事是因果

○善惡邪正之利非天之神命唯原于人類社会之公利与公害

駿河台東紅梅
町十一番地 井上達也

瓦

三十坪ニテ三千九百枚

神田五軒町

三番地 朝倉清一

指物ヤ

麴町二丁目 三五郎

四谷タンス町 壺内藤太郎

七十一番地

芝松本町廿七番地

宮崎安五郎
本郷春木町 (二丁目敷) 廿四番地

森 醇

京橋南伝馬町
三丁目十番地 布施惣吉

福岡極楽寺町

加藤一登 加藤正之

側

白金村六十九番地

瓦師鉄五郎

西コイヤ町三番地鈴木泰

益田彦太夫

ランプ灯

両国米沢町

上総屋常吉

新潟旭町拾番地 加藤正矩

相生町三丁目八番地

共立学舎

武州荏原郡野良
田村五十五番 松井伊三郎

東京会計属

土岐寧頭

西久保巴町近処

銀座三丁目十八番地

高田商会

深川平 (田境給田貳百二十二番地)

(井新田六十六番地) 小島信民

四谷西念寺横丁

石屋半次郎

西久保明舟町十七番地 林忠恕

福島県安積郡

桑野村

国分丈三郎方

渡邊三平

○神楽町三丁目六番地

羽根鍊十郎

上手 南八丁堀壺丁目

○建工屋 細沼鉄五郎

袋町

十一番地 間島内中村

○北品川百五十九番

鳴崎別荘

足立

○高輪車町三十六番

吉本多吉

○麴町七丁目五番地

洪屋

○築地小田原町二丁目

式拾五番地 伊七金

○四谷ウラ左門町旧八十五番地

関戸豊次郎

○三崎町巷丁目

五は心地竹内邸

堺町長崎ヤ 牧野

(裏表紙裏)

赤坂新町 今井一老

○四丁目(株通) 十三番地

麻布

長坂町 札田玄端

二番地

○ 八月廿七日

(株通) (八七尺九寸)

伊勢山

八尺式寸

宮崎町

(株通) (七尺)

六番地

六尺五寸

藤田

火金

三月六日

付記

本日記の翻刻にあたっては左記の八名が行った。中野実(元東京大学史料室員・立教学院史編纂室)、沖田哲雄(中央大学大学史編纂課)、角田茂(同)、中川寿之(同)、藤田正(同)、松崎彰(同)、寺崎弘康(神奈川県立博物館)、日露野好章(東海大学五十年史編集委員会)。